

以下は7月12の講義時間に行なう演習です。演習の後、問題と解答を A4の紙 にレポートとしてまとめて7月19日の 講義の初め に提出してください。

解答は、結果を得るための計算過程、思考過程が分るような書き方を工夫してください。

この演習の問題用紙は、

<http://fuchino.ddd.jp/kobe/biseki-2-ss16-uebung2.pdf>

としてダウンロードできます。

1. 領域 D 上の積分を計算してください:

$$(1) \iint_D \frac{x^2}{y} dx dy, \quad D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 : y \geq x^2, x \geq 1, y \leq 4\}$$

$$(2) \iint_D ye^{xy} dx dy, \quad D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 : \frac{1}{2} \leq x \leq 2, \frac{1}{x} \leq y \leq 2\}$$

2. 次の二重積分に対応する積分領域を図示してください:

$$(1) \int_0^1 \left(\int_{x^2}^x f(x, y) dy \right) dx \quad (2) \int_1^2 \left(\int_y^{3y} f(x, y) dx \right) dy$$

3. 極座標変換を用いて、以下のそれぞれの領域 D についての積分を計算してください:

$$(1) \iint_D \sqrt{x^2 + y^2} dx dy, \quad D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 : x^2 + y^2 \leq 2x\}$$

$$(2) \iint_D \sqrt{x^2 + y^2} dx dy, \quad D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 : a^2 \leq x^2 + y^2 \leq b^2\}$$

ただし $0 < a < b$ とする。

4. 次の二重積分を変数変換を用いて計算してください:

$$(1) \iint_D (x^2 + y^2) dx dy, \quad D \text{ は } (0, 0), (1, 1), (1, -1), (2, 0) \text{ を頂点とする正方形の内部}$$

(ヒント: $x + y = u, x - y = v$ とおく)

$$(2) \iint_D y^2 dx dy, \quad D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 : \frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} \leq 1\} \quad \text{ただし } a, b > 0 \text{ とする。}$$

(ヒント: まず $x = au, y = av$ とおく)

5. (1) 平面 $2x + 3y + z = 6$ の $0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq 1$ の部分の面積を求めてください。

(2) 曲面 $z = x^2 + y^2$ の $0 \leq z \leq 2$ の部分の面積を求めてください。

6. 領域 $D = \{(x, y, z) \in \mathbb{R}^3 : x^2 + y^2 + z^2 \leq 4, x^2 + y^2 \leq 3z\}$ を図示してください。 D の体積を求めてください。